

座談会

## 初めての長期実務実習を終えて

薬学6年制となり、今年5月に初めての長期実務実習がスタートした。3大学を有する福岡県では本年度、305人の学生が実習を行う予定で、受ける側、受け入れる側、そして送り出す側もとにかく初体験。試行錯誤を重ねながら、準備に多くの時間を費やしてきた。9月からは2期の実習がスタートするが、これに先駆け、7月30日に終了した1期の実習に参加した九州大学、福岡大学、第一薬科大学より実習生各1人(薬局実習2人、病院実習1人)、指導薬剤師3人(薬局2人、病院1人)、計6人による座談会を当委員会企画した。実習生、指導薬剤師の忌憚なき声を、できるだけリアルタイムにお伝えすべく1回目1期の実習を終えたばかりの8月3日(火)同県薬会館にて開催した。当日は3大学よりオブザーバーとして関係者も同席いただき、座談会を終えてのご意見も掲載している。これからの実習に備え、今後の参考になれば幸いである。

(広報編集委員会)

<参加者>

指導薬剤師

重富 礼子 (筑紫薬剤師会)  
兼重 晋 (県病院薬剤師会)  
原口 恵子 (福岡市薬剤師会)

学生

田原 美希 (福岡大学)  
村田 竜介 (九州大学)  
平川 尚弘 (第一薬科大学)

司会

東 千鶴 (県薬常務理事)

オブザーバー

森田 桂子 (第一薬科大学)  
島添 隆雄 (九州大学)  
小田 真稔 (福岡大学)  
濱 良一 (県薬副会長)  
田尻 泰典 (県薬専務理事)

平川尚弘さん

